

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるように大切に保管して下さい。

鎮痛消炎パップ剤

筋肉痛・関節痛・腰痛

第2類医薬品

ヒブサルパップV

特長

- 医療用に使われている鎮痛消炎成分のインドメタシンが、痛みの原因となる物質の生成を抑え、腰痛、関節痛などの痛みを伴う症状に優れた効果を発揮します。
- 粘着性に優れ、伸縮性のある基布を使用していますので、肌にピッタリとフィットし、長時間薬効が持続します。

使用上の注意



してはいけないこと

【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。】

1. 次の人は使用しないで下さい。

- ①本剤によるアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等）を起こしたことがある人。（以前本剤に配合されているインドメタシンを使用してアレルギー症状を起こしたことがある人は、再び同じお薬を使用すると更に強い症状を起こす可能性があります。）
- ②ぜんそくを起こしたことがある人。（ぜんそくを起こしたことがある人はインドメタシン等の抗炎症剤を使用するとぜんそく発作を誘発することがあります。）
- ③15歳未満の小児。

2. 次の部位には使用しないで下さい。

- ①目の周囲、粘膜等。
- ②湿疹、かぶれ、傷口。
- ③みずむし・たむし等又は化膿している患部。

3. 連続して2週間以上使用しないで下さい。

相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。

- ①医師の治療を受けている人。
- ②妊婦又は妊娠していると思われる人。
- ③本人又は家族がアレルギー体質の人。
- ④薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。

- ①使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、ヒリヒリ感、熱感、乾燥感、皮下出血

- ②5～6日間使用しても症状が改善されない場合。

効能・効果

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎（手・手首の痛み）、肘の痛み（テニス肘など）、打撲、捻挫

用法・用量

表面のプラスチックフィルムをはがし、1日2回を限度として患部に貼付して下さい。

- ①定められた用法・用量を守って下さい。
- ②本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用して下さい。
- ③患部が汗等で濡れている時は、よく拭いて下さい。
- ④皮ふの弱い人は、使用前に腕の内側の皮ふの弱い個所に1～2cm角の小片を目安として半日以上貼り、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きないことを確かめてから使用して下さい。

成分・分量

膏体100g（1000cm²）中

成 分	含 量	はたらき
インドメタシン	500mg	炎症を鎮め、痛みをやわらげます。

添加物：ゼラチン、エデト酸ナトリウム水和物、マクロゴール、ポリソルベート80、*l*-メントール、カオリン、酸化チタン、濃グリセリン、D-ソルビトール、ヒマシ油、ポリアクリル酸部分中和物、カルメロースナトリウム、pH調節剤、その他3成分含有

保管及び取扱い上の注意

- ①小児の手の届かない所に保管して下さい。
- ②直射日光の当たらない涼しい所に保管して下さい。
- ③他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり、品質が変わる恐れがあります。）
- ④未使用分はもとの袋に入れ、開封口のチャックをきちんと閉めて、外気に触れないようにして保管して下さい。
- ⑤使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

■25枚入（1枚10×14cm）

発売元：明治薬品株式会社

富山県富山市三郷6番地

製造販売元：東和製薬株式会社
和歌山県紀の川市貴志川町丸栖1229番地

〈ご相談窓口〉

お買い求めのお店又は下記窓口まで
東和製薬株式会社
☎(0736)64-2567
時間9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

使用期限

製造番号



このパッケージは再生紙と大豆油インキを使用し、環境に優しい「水なし印刷」を使用しています。

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）



4 954007 070282